

## 令和4年10月（第11回）光市教育委員会会議の要旨

### 1 開催日時

令和4年10月27日（木） 午後2時00分～午後2時55分

### 2 場 所

教育委員会事務局 1階ホール

### 3 出席者

伊藤教育長、寺崎委員、平岡委員、武田委員

### 4 事務局

升教育部長、原田学校教育課長、門岡学校教育課主幹、国広文化・社会教育課長兼人権教育課長、眞嶋図書館長、三好体育課長、高橋学校給食センター所長、吉永教育総務課長、秋友教育総務課経理係長

### 5 教育長報告

- (1) 小中学校の教育活動について
- (2) 文化・スポーツ関連の行事について
- (3) 施設一体型小中一貫やまと学園に係る進捗状況について
- (4) 令和4年度日本PTA会長表彰の受賞について
- (5) ご寄附の報告について

### 6 議 事

#### (1) 報 告

ア 報告第44号 施設一体型小中一貫やまと学園準備委員会設置要綱の制定について

報告第45号 施設一体型小中一貫やまと学園準備委員会委員の委嘱について

#### (ア) 概 要

施設一体型小中一貫やまと学園準備委員会設置要綱を制定し、準備委員会の委員を委嘱したことについて、事務局より説明。

#### (イ) 内 容

概要のとおり。

#### (ウ) 主な意見等

##### ① 意 見

今後の進め方について、準備委員会のメンバーに地域の方や先生方が多く選ばれているが、小中一貫教育に携わった経験があるメンバーが少ない中で、検討に必要な情報や知識を得る場は用意されているのか。

## 回 答

第1回目の会議から、アドバイザーとして山口大学の松田教授にご参加いただき、他市の小中一貫教育の取組事例の紹介や光市における今後の取組に関する講演をお願いしており、また、定期的にアドバイスをいただくこととしている。

事務局でも先進事例を多く収集しており、それらも参考にしながら協議の進め方を検討していきたい。

## 意 見

アドバイザーを加えるのは良い考え。

先日、岩国市の小中一貫教育の現場を実際に目にしたが、目にするだけで初めてイメージが沸いたことがあった。

メンバーの方にも、映像を提供するなどによりイメージをもって協議に臨んでいただく工夫があればいい。

## ② 意 見

スケジュールについて、施設一体型小中一貫ひかり学園の新設に係る方針の中では、具体的な進め方として準備委員会の設置まで示されている。

今後の部会ごとのスケジュールなどが分かれば教えてほしい。

## 回 答

第1回目の準備委員会で大まかなスケジュールを示す予定。ワークショップの開催などに関する資料を配布する予定であり、教育委員会会議でもお示ししたい。

## 意 見

準備委員会では多くの事項を協議するため、委員が意見を整理する時間が必要であるので適切な対応をお願いしたい。

## イ 報告第46号 令和3年度光市一般会計教育費関係決算について

### (ア) 概 要

令和3年度光市一般会計教育費関係決算について、教育総務課長より報告。

### (イ) 内 容

概要のとおり。

### (ウ) 主な意見等

#### ① 意 見

就学援助について、令和3年度は小学校の給食費の欄に327人との記載があり、これは小学生全体の1割を超える児童が対象となっているということであるが、他市のように給食費の全額補助、全員補助といった取組の可能性についてどのように考えているか。

## 回 答

学校給食費は、学校給食法で保護者負担とされていることから、給食の食材費については、基本的には保護者負担となるものと考えている。

他市において全額補助等の取組は見られるが、多額の事業費を要するという点からも実施は困難である。

## ② 意見

令和2年以降、コロナ禍で多くの事業やイベントが中止となった。

新型コロナウイルス感染症を巡る現在の状況は、当時とはかなり異なっていると考えるが、今後の事業等の中止に関する基準についてどのように考えているか。

## 回答

判断の基準は徐々に緩和されている状況で、今後も厚労省や文科省等のガイドラインに基づいて検討することとなる。

また、市内の状況に対しては、全庁的に市としての方向性を検討し、個別に対応していくこととなる。